

人が多いそうである。オオモンツチバチが非常に多かったのでコガネムシ科の幼虫は多そうであるが、オオヒョウタンゴミムシのエサと言われるシロスジコガネは確認できなかった。県内には、探せば他にも生息地があるのであろうが、吹上浜では、松林の防波堤近くの、人や車に踏まれていない部分に帯状に生息しているのではないかと今回の調査で思った次第である。

最後に、暑い中トラップを掛ける時間を下さり、手伝ってくれた北河展子さん、情報をいただいた初宿成彦さん、桂孝次郎さん、松本支樹郎さん、河上康子さんに厚くお礼を申し上げる。

#### <参考文献>

- 堀田 満(1973) 淡路島でオオヒョウタンゴミムシを採集 *Parnassius*(10):7  
 奥谷 禎一(1975) 吹上浜の甲虫2種 *Parnassius*(14):6  
 高橋寿郎(1976) 淡路島の甲虫相 *Parnassius*(16):4  
 環境庁(1980) 兵庫県オオヒョウタンゴミムシ 調査年度1978年 日本の重要な昆虫類(近畿版):82

- 前川和昭(1984) 採集4例の報告 *Parnassius*(31):7  
 新家 勝(1990) 武庫川の昆虫目録 伊丹の自然(8):13  
 自然環境研究所(1993) 淡路島の絶滅の恐れのある野生生物(I)—淡路島版レッドデータブック第1集—自然環境研究所:16-17  
 兵庫県(1995) 兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック:112-113  
 高橋寿郎(1997) 兵庫の野生動物 絶滅が心配されている動物たち:167-168  
 高橋寿郎(1998) 淡路島産甲虫目録(1) *Parnassius*(47):3  
 大野正男(2000) 日本産主要動物の種別知見総覧(53) オオヒョウタンゴミムシ(1) 東洋大学紀要 教養課程篇—自然科学—第44号 :133-162  
 河上康子・稲畑憲昭(2000) 大阪湾沿岸地域における海浜・河口水域の地表性甲虫調査 関西甲虫談話会(16):1-29

(INAHATA NORIAKI

神戸市灘区八幡町1丁目2-54)

## 兵庫県未記録の蛾

兵庫県産蛾類分布資料・27

高島 昭

兵庫県産の蛾の文献記録と未発表記録について、筆者が収集したデータベースをもとに本誌等で順次紹介しているところであるが、全部を紹介するには相当の時間がかかる。

そのような中で筆者が採集した蛾のうち兵庫県では未記録と思われる種が増えてきた。また、本会会員である中西明德氏、八木 剛氏の格別のお計らいによって兵庫県立人と自然の博物館の収蔵標本を調査させていただいたときに発見した「県下初記録種」と思われる種もある。

そこで、筆者が現在までに参照できた文献(既報)をもとに、兵庫県から未記録と思われる蛾を紹介したいと思う。なお、筆者の貧弱なデータベースをもとにしているの、誤った知見や漏れ落ち等があるかもしれない。そのような節には御教示いただければ幸いである。

なお、採集者名の後に★印がついているものが兵庫県立人と自然の博物館で調査した標本のデータである。また、筆者採集のものは採集者名を省略する。

### TORITORICIDAE ハマキガ科

#### *Tritricinae* ハマキガ亜科

1. *Pandemis dumetana* (Treitschke)  
アミメトビハマキ  
上郡町(船坂, 4.X.1997, 1♂)
2. *Geogepa stenochorda* (Diakonoff)  
ホシオビハマキ  
波賀町(坂の谷, 17.VII.1998, 1♀)
3. *Gnorismoneura hoshinoi* (Kawabe)  
ホシノハマキ  
波賀町(坂の谷, 27.V.1998, 1♂)  
上郡町(行頭, 2.V.1995, 1ex.)
4. *Spatalistic christophana* (Walsingham)  
ギンボシトビハマキ  
波賀町(坂の谷, 31.VII.1998, 1♂)
5. *Acleris laterana* (Fabricius)  
ヤナギハマキ  
大屋町(横行溪谷, 2.V.1999, 1♂)
6. *Acleris cristana* (Denis & Schiffermüller)

トサカハマキ

波賀町(引原,24.IV.1998,1♀)

7. *Acleris japonica* (Walsingham)

ナカジロハマキ

安富町(大河溪谷,7.V.1999,1♂)

8. *Cryptasphasma trigonana* (Walsingham)

クロサンカクモンヒメハマキ

神戸市(伊川谷町,5.IV.1998,2♀ ; 1.V.1998,1♂)

大図鑑には図示されていない。春に出現する。

**Olethreutinae** ヒメハマキガ亜科

9. *Phaenocarpa obratzovi* Diakonoff

シロテンシロアシヒメハマキ

安富町(大河溪谷,14.V.1999,1♀)

10. *Statherotmantis pictana* (Kuznetsov)

キモンヒメハマキ

安富町(大河溪谷,14.V.1999,1♂)

11. *Olethreutes mori* (Matsumura)

クワヒメハマキ

波賀町(坂の谷,26.VI.1998,1♂ : 同,10.VII.1998,1♂)

12. *Endothenia nigricostana* (Haworth)

クロマダラシンムシガ

波賀町(坂の谷,26.VI.1998,1♂)

13. *Lobesia reliquana* (Hübner)

ホソバヒメハマキ

波賀町(坂の谷,5.V.1998,1♂ : 同,20.VI.1998,1♂)

14. *Semnostola magnifisa* (Kuznetsov)

ニセハギカギバヒメハマキ

大屋町(横河溪谷,15.VII.1999,1♂)

15. *Notocelia autolitha* (Meyrick)

ウスシロモンヒメハマキ

波賀町(坂の谷,3.VII.1998,1♂ : 同,10.VII.1998,1♂)

16. *Eucosma obumbratana* (Zeller)

マエグロスソモンヒメハマキ

波賀町(坂の谷,17.VII.1998,1♂)

17. *Antichlidas holocnista* Meyrick

ツマキハイロヒメハマキ

波賀町(坂の谷,24.VII.1998,1♀)

18. *Grapholita molesta* (Busck)

ナシヒメシクイ

波賀町(坂の谷,5.V.1998,1♂)

**CRAMBIDAE** ツトガ科

**Pyraustinae** ノメイガ亜科

19. *Pleuroptya expictalis* (Christoph)

ウスキモンノメイガ

波賀町(坂の谷,26.VIII.1992,1♂,熊代直生\*)

村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂)

関宮町(大段ヶ平,4.VIII.2000,1♀)

大図鑑では北海道と東北~中部山地を産地としてあげているが、県下の山地帯にも確実に産し、少ないものと思われる。

20. *Glyphodes formosanus* (Shibuya)

ツシマスカシノメイガ

大屋町(横河溪谷,20.VIII.1999,1♂)

対馬のほか岡山県内で記録があるが少ない種である。

21. *Ostrinia scapularis* (Walker)

アズキノメイガ

大屋町(横河,23.VII.1957,1♀,山本義丸\*)

**PYRALIDAE** メイガ科

**Galleriinae** ツツリガ亜科

22. *Aphomia zelleri* (Joannis)

オオツツリガ

関宮町(大段ヶ平,21.7.2000,1♀)

**Phycitinae** マダラメイガ亜科

23. *Favaria bilineatella* (Inoue)

ウスシロフタスジマダラメイガ

波賀町(引原,25.VII.1988,1♀)

24. *Ceroprepes nigrolineatella* Shibuya

スジグロマダラメイガ

大屋町(横河溪谷,6.VII.1000,1♀)

関宮町(大段ヶ平,4.VII.2000,1♀)

**GEOMETRIDAE** シャクガ科

**Sterrhinae** ヒメシヤク亜科

25. *Scopula asthena* Inoue

キシジシロヒメシヤク

相生市(三瀬山,25.VI.2000,1♂)

局地的な分布を示す種で、関東から近畿のかけての狭い範囲に生息する。山地性の種である。県下からはかつて氷上郡から記録された(山本,1958)が、既報の記録を確認できないとして削除さ(山本,1997)れた。その後筆者は相生市で確認している。

26. *Idaea denudaria* (Prout)

ウスモンキヒメシヤク

姫路市(太市,17.V.1995,1♂)

大屋町(横河溪谷,8.X.1999,1♂)

低山地から平地に普通の種であるが、これまでなぜか記録がない。おそらく同定が厄介なため近縁種も含めてあまり採集されていないか、発表されずにいるものと思われる。おそらく各地に広く産するだろう。

**Larentiinae** ナミシヤク亜科

27. *Trichopteryx nagaii* Inoue

チャマダラコバネナミシヤク

神戸市(摩耶山,12.III.1989,1♂,岡村八郎\*)  
年1回,早春に発生する種で,これまで兵庫県からは記録がなかったが,人と自然の博物館で標本を確認した.

**28. *Trichopteryx ustata* (Christoph)**

クロオビシロナミシヤク  
大河内町(砥峰高原,13.V.1991,1♂,八木剛\*)  
年1回,春に発生する種で,博物館で標本を確認した.山地性の種である.

**29. *Trichopterygia consobrinaria* (Leech)**

ウスアカモンナミシヤク  
大河内町(長沢,14.IV.2000,1♀)  
年1回,春に出現する種である.比較的少ない種であるが春の調査を徹底すれば山地では見つかるだろう.

**30. *Xanthorhoe biriviata* (Borkhausen)**

ナカシロスジナミシヤク  
大屋町(横行溪谷,11.VI.1999,1♀;20.VIII.1999,1♂1♀)

北海道から九州に至る本土域に分布する.幼虫はキツリフネを食べる.県下では少ない種で,大屋町からの記録が唯一である.西播北部から但馬にかけての山地帯では産地が発見されるだろう.

**31. *Plemyria rubiginata* (Denis & Schiffermüller)**

トビモンシロナミシヤク  
大屋町(横行溪谷,23.VII.1999,1♂)  
県下ではこれまで記録がなかったが,筆者は大屋町の山間部で採集している.山地性の種で,西播北部から但馬にかけての山地帯に分布していると思われる.

**32. *Hydrelia flammeolaria* (Hufnagel)**

キヒメナミシヤク  
温泉町(扇ノ山,7.VII.1991,1♂,八木剛\*)  
大図鑑では北海道及び東北から中部山地にかけて分布する種とされているが,人と自然の博物館で標本を確認した.

**33. *Perizoma fulvida* (Butler)**

コカバスジナミシヤク  
波賀町(坂の谷,8.VI.1991,1♂;6.VI.1992,3♂1♀,熊代直生\*:同,27.V.1998,1♂3♀;25.IX.1998,1♂1♀;引原,21.X.1997,1♀)  
温泉町(扇ノ山,7.VII.1991,1♂,八木剛\*)  
大屋町(横行溪谷,28.V.1999,1♂;4.VI.1999,1♀)  
関宮町(大段ヶ平,2.VI.2000,1♂2♀)  
山地性の種であるが,西播北部から南但地域の間部では普通に見られる.おそらく中央山地一帯に広く分布しているものと思われる.なぜかこれまで記録がなかった.

**34. *Eupithecia okadai* Inoue**

オオモンカバナミシヤク

波賀町(坂の谷,8.VI.1991,1♂,熊代直生\*)  
山地性の種で年1回,春に出現する.人と自然の博物館で標本を確認した.

**35. *Eupithecia selinata* Herrich-Schäffer**

オビカバナミシヤク  
大屋町(横行溪谷,11.IX.1999,1♀)  
大図鑑では北海道及び東北から中部にかけての山地に分布するとされているが,筆者は大屋町で採集している.

**36. *Chloroclystis consueta* (Butler)**

クロフウスアオナミシヤク  
姫路市(太市,17.V.1995,1♀)  
安富町(大河溪谷,14.V.1999,1♂)  
これまで記録がなかったが,春の低山地では普通に分布すると思われる.

**37. *Chloroclystis obscura* West**

ハラアカウスアオナミシヤク  
大屋町(横行溪谷,6.VII.1999,1♀)  
普通種とされているが,これまで記録はなかった.

**Ennominae エダシヤク亜科**

**38. *Lomographa nivea* (Djakonov)**

ウスオビシロエダシヤク  
波賀町(坂の谷,8.VI.1991,2♂;6.VI.1992,1♂,熊代直生\*)  
相生市(瓜生,28.IV.1997,1♀)  
やや局地的な分布をするという.年1回,春から初夏にかけて発生する.人と自然の博物館で標本を確認したほか,筆者は相生市で本種を採集している.

**39. *Arichanna albomacularia* Leech**

シロホシエダシヤク  
大河内町(長沢,29.IV.2000,1♂)  
安富町(大河溪谷,7.V.1999,1♀)  
一宮町(福知溪谷,15.V.1987,2♂,八木剛\*)  
波賀町(坂の谷,11.V.1991,2♀,八木剛\*:同,8.VI.1991,1♀;6.VI.1992,1♂1♀,熊代直生\*:同,15.V.1998,2♂)  
温泉町(扇ノ山,7.VII.1991,1♀,八木剛\*)  
大屋町(横行溪谷,4.VI.1999,1♂)  
これまでなぜか記録がなかったが,山地に広く分布しているようである.

**40. *Pseuderannia ampliipennis* (Inoue)**

ウスバシロエダシヤク  
神戸市(摩耶山,27.IV.1986,1♀,岡村八郎\*:六甲山,25.IV.1985,4♂,岡村八郎\*)  
大河内町(砥峰高原,13.V.1991,4♂,八木剛\*)  
大屋町(横行溪谷,17.IV.1999,1♀;8.V.1999,1♂)  
年1回,春に出現する.それほど珍しい種ではないと思うが,これまで兵庫県からは記録がなかった.

**41. *Hypomecis akiba* (Inoue)**

## アキバエダシヤク

村岡町(瀬川平,12.VIII.1989,1♂,近藤伸一)

西南日本では少ない種と思われる。近藤伸一氏が村岡町で採集された標本を筆者が確認している。

42. *Myrioblephara cilicornaria* (Püngeler)

キバナトビスシエダシヤク

大河内町(砥峰高原,13.V.1991,1♂,八木剛\*)

## LASIOCAMPIDAE カレハガ科

43. *Amurilla subpurpurea* (Butler)

スカシカレハ

波賀町(坂の谷,24.VIII.1991,1♂,大築正弘\*:同,26.VIII.1992,6♂,熊代直生\*)

冷温帯性の種である。県下から文献記録はない。

以前、筆者は兵庫県下のカレハガ科14種を紹介(きべりはむし27(1))した時、今後発見が期待される種として紹介していた。その後兵庫県立人と自然の博物館で本種の標本を確認している。これで兵庫県で記録されたカレハガ科は15種となる。

## NOTODINTIDAE シャチホコガ科

44. *Torigea plumosa* (Leech)

トリゲキシャチホコ

波賀町(坂の谷,8.VI.1991,1♂,熊代直生\*)

日本特産種で、本州、四国、九州の標高1,000メートル前後のブナ帯に産する。岡山県北部のブナ帯から記録されており、筆者が兵庫県下のシャチホコガ科88種を紹介(てんとうむし13,14)した時、今後発見が期待される種として紹介していた。その後、人と自然の博物館で本種の標本を確認した。これで兵庫県で記録されたシャチホコガ科は89種となる。

## LYMANTRIIDAE ドクガ科

45. *Calliteara virginea* (Oberthür)

ウスシロドクガ

大河内町(砥峰高原,13.V.1991,1♂,八木剛\*)

山地性でかなり稀な種であるという。人と自然の博物館で大河内町産の標本を確認した。

## NOCTUIDAE ヤガ科

## Amphipyriinae カラスヨトウ亜科

46. *Triphaenopsis postfalva* (Leech)

ナカシロキシタヨトウ

神戸市(六甲山,29.VII.1989,2♂,岡村八郎\*)

関宮町(大段ヶ平,21.VII.2000,3♂)

47. *Chasminodes atrata* (Butler)

エソクロギンガ

波賀町(坂の谷,19.VIII.1998,1♀)

## Acontiinae コヤガ亜科

48. *Koyaga virescens* (Sugi)

ミドリシロモンコヤガ

安富町(大河溪谷,5.VI.1999,1♂)

別稿「兵庫県のコヤガ亜科」を参照のこと。

## Plusiinae キンウワバ亜科

49. *Autographa braetica* (Staudinger)

ムラサキキンウワバ

関宮町(氷ノ山,16.VIII.1955,1♂1♀;11.VIII.1956,1♂,山本義丸\*)

## Catocalinae シタバガ亜科

50. *Ophiusa tirhaca* (Cramer)

クロモンシタバ

神戸市(摩耶山,10.IX.1967,1♀,岡村八郎\*)

南方系の美麗な大型種である。摩耶山産の標本を人と自然の博物館で確認した。おそらく南方から飛来したものであろう。

## Hypeninae アツバ亜科

51. *Anoratha costalis* Moore

マエキトガリアツバ

関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♀)

♂と♀で形状や色彩が異なることで有名な種である。

52. *Bomolocha mandarina* Leech

マガリウスツアマツバ

村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♀)

関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,2♀;4.VIII.2000,1♂)

大図鑑では関東、中部、四国、九州山地に産し、産出は普遍的でなく個体数は少ないと紹介されているが、県北部の山地にも確実に分布している。

## Hermiiniinae クルマアツバ亜科

53. *Paracolax fascialis* (Leech)

オビアツバ

大屋町(横行溪谷,4.VI.1999,1♂;20.VIII.1999,1♂)

関宮町(大段ヶ平,4.VIII.2000,1♂)

普通種とされているが、兵庫県からはこれまで記録がなかった。県下では山地性のようである。

以上、53種について報告する。

これらを含めて現時点で兵庫県から記録された蛾類は2,225種となる。これについては、稿を改めて発表する予定であるが、小蛾類についてはほとんどわかっていないなか、この種類数はかなり豊富であるといえる。

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)